

平成 25 年 2 月 28 日  
九州電力株式会社  
株式会社キューデン・エコソル

## 長崎県佐世保市におけるメガソーラー発電事業の実施について

九州電力株式会社（福岡市中央区、瓜生道明社長）は、国産エネルギーの有効活用、並びに地球温暖化対策として優れた電源であることから、風力・太陽光などの再生可能エネルギーの積極的な開発、導入を推進しており、特に太陽光については、当社発電所跡地を活用したメガソーラー開発を中心に取り組んでおります。

このような中、グループ会社の株式会社キューデン・エコソル（福岡市中央区、伊崎数博社長）が、長崎県佐世保市の旧相浦発電所跡地において、10MWのメガソーラー発電事業を実施することになりましたので、お知らせします。

株式会社キューデン・エコソルは、地球環境問題や再生可能エネルギーの普及拡大に貢献していくため、メガソーラー発電事業に進出しており、現在建設中の大村メガソーラー発電所（九州電力の大村発電所跡地、13.5MW）に続き、本件が2箇所目の10MW級のメガソーラー発電所となります。

### 〔メガソーラー開発の取組み〕

事業者	発電所名	発電出力	運転開始
九州電力(株)	メガソーラー大牟田発電所	3 MW	平成 22 年 11 月
(株)キューデン・エコソル	大村メガソーラー発電所	13.5MW	平成 25 年 3 月(3MW) 平成 25 年 5 月(10.5MW)
(株)キューデン・エコソル	佐世保メガソーラー発電所	10MW	平成 25 年度末

以 上

(別紙資料)長崎県佐世保市におけるメガソーラー発電事業の概要